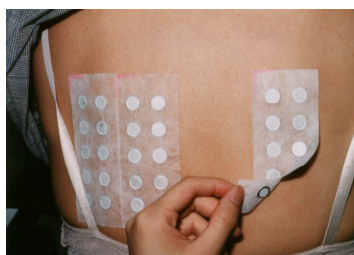


# 閉塞法(クローズドパッチテスト)

閉塞法はいわゆる「パッチテスト」と呼ばれるもので、皮膚に触れる可能性のある製品の刺激性を評価するための方法です。

パッチテストユニットの一例

パッチテストユニット（絆創膏とチャンバーが一体となったもの）を用いて調べたいサンプルを密閉状態で皮膚に貼り付けます。サンプルの除去後、皮膚を観察して、赤みや腫れなどを判定します。



## 試験条件

被験者数；20～45名（他の人数でも可能です）  
貼付時間；24時間、48時間  
判定；除去1時間後、除去24時間後  
（除去48時間後など、経過観察も対応します）

皮膚科専門医とTrained Expertによる肉眼判定結果を、  
全例の写真と共に報告いたします。

サンプルは、香粧品を中心に繊維製品など、皮膚に触れる可能性のある日用品全般で実施いたします。



紫外線の影響による光毒性を調べるための、光パッチテストも実施しております。

香粧品では、40名、24時間貼付の2回判定が一般的ですが、その他の条件でもご相談いただければ、可能な限り対応いたします。

日皮協の第2分科会では4時間貼付と24時間貼付について比較検討するなど、サンプルの皮膚刺激性を適切に評価できるように日々研究を行っております。実施をご検討の際には、ぜひ、ご相談ください。

もっと詳しい内容やご不明な点については、お問い合わせください。

